

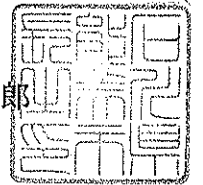


発能美土木第 106 号

平成19年 5月 7日

国土交通省 道路局長 殿

石川県能美市長 酒井 悌次郎



中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について (回答)

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のありました標題の件について、
別紙のとおり回答いたしますので、よろしくお取り計らいますようお願い申し
上げます。

中期的な道路施策や道路の整備・管理についての意見

モータリゼーション化している現代社会において、地域振興や地域経済の活力は、高規格道路網の整備状況により、大きく左右されます。

能美市においても、国道8号小松バイパスの完全4車線化の早期完成は、金沢市の外環状山側幹線から加賀産業開発道路・国道8号小松バイパスに接続する道路と合わせた南加賀地域の二つの大動脈として、地域発展のために必要不可欠なものであり、早期の完成を望むものであります。

能美市の道路整備については、昨年12月に能美市総合計画を策定し、新しい能美市を創るための将来像の実現に向けた五つのリーディングプランを掲げております。このリーディングプランのなかの一つに「ものづくりプラン」があります。能美市では、世界に名だたる優秀な企業が多く、そこから生み出される製品配送等を高規格道路網を利活用することで、輸送コストの軽減や時短を図ることが可能となります。またそのことが、企業の生産性向上や広域物流の拠点地域として能美市の活性化に寄与するものと思っております。さらには、新たな工業団地造成への期待も膨らみます。

加えて、市民の利便性向上や災害時の避難道路としての役割も大きく、高規格道路網の整備充実は今後とも地域社会にとっては重要な政策課題と思料します。

また、産業・経済界や有識者、市民等から能美市を通る北陸自動車道に（仮称）能美インターチェンジを望む声も多く、能美市としても将来を展望する上で、重要な案件と位置づけ、設置に向けた準備を始めており、国においても（仮称）能美インターチェンジ新設に向けたご支援・ご協力をお願いするものであります。

道路の維持管理については、冬期間の交通安全の確保や夜間の安全を守る道路照明の充実、交通監視施設等の整備は、地域生活における「安全・安心」を確保する上で大きな役割を果たしているものと思っておりますので、今後の道路維持管理についてもこれまで以上の整備充実が肝要と考えます。